

株式会社 大東スピニング



代表取締役
藤村 昭造

異形断面形状が成形可能な
スピニング加工機を開発

群馬県
邑楽郡邑楽町中野738-5

1976年(昭和51年)設立
0276-70-2350

<http://www.daitohsp.co.jp/>

各種スピニング加工機の開発・製造・販売を専門とし、新たに楕円・偏心・多角形など異形断面形状を成形可能なスピニング加工機を開発

スピニング加工機ひとすじの専門メーカー

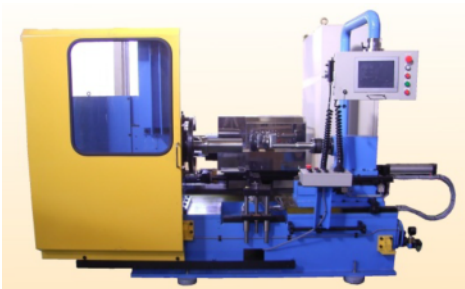
スピニング加工とは、板やパイプなどの金属素材を旋盤の様に回転させてローラー工具で成形する塑性加工法で、へら絞りとも言う。同社は創業以来一貫して各種スピニング加工機の開発・製造・販売を行っている。

顧客ニーズに応える技術の蓄積

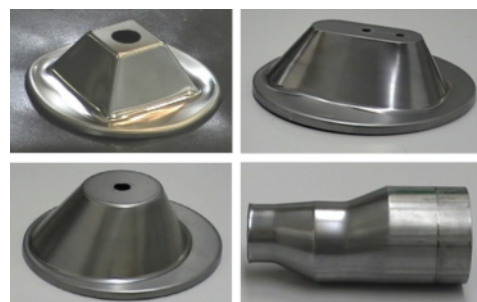
スピニング加工機を専門に扱う国内では数少ない企業として、へら絞りを行う金属加工業者の多くに加工機を供給してきた。またスピニング加工で部品の量産を行う、自動車・電機・照明など多岐の分野にわたる企業に特注仕様の専用機を納入している。こうした専用機の中には、ステンレス管を肉厚0.03mmまでしごいて引き伸ばしたり、高張力鋼の円環を特殊な形に成形するなど、スピニング加工に関連した種々の高度な技術も盛り込まれている。

異形断面形状が成形できる新型スピニング加工機

同社は、従来のスピニング加工の枠組みを超えて、楕円・偏心・多角形などさまざまな異形断面形状が成形できる新しいスピニング加工機を産業技術総合研究所と共同で開発した。成形型が一つだけで済み、プレス加工と比べ型のコストが非常に低い。切削加工と比べ材料の歩留まりが良い。装置が小型で騒音・振動が少ない。多品種少量生産や製品の試作などに特に有利である。



異形断面形状が成形可能なスピニング加工機



成形品の例